

平成三十一年度 大学院人文科学府博士後期課程第2期入学試験問題
(国語学・国文学)

- 一 別紙Aの影印を全文翻字せよ。(二〇点)
- 二 別紙Bの記事について日本語学的観点から分析を加えよ。(二〇点)
- 三 次の事項について知るところを記せ。(四〇点)
 - (1) 伊勢物語
 - (2) 近松門左衛門
 - (3) オノマトペ
 - (4) 定家仮名遣
- 四 次の中から志望専攻に応じて一問を選択し、解答せよ。(二〇点)

(国文学・近世)

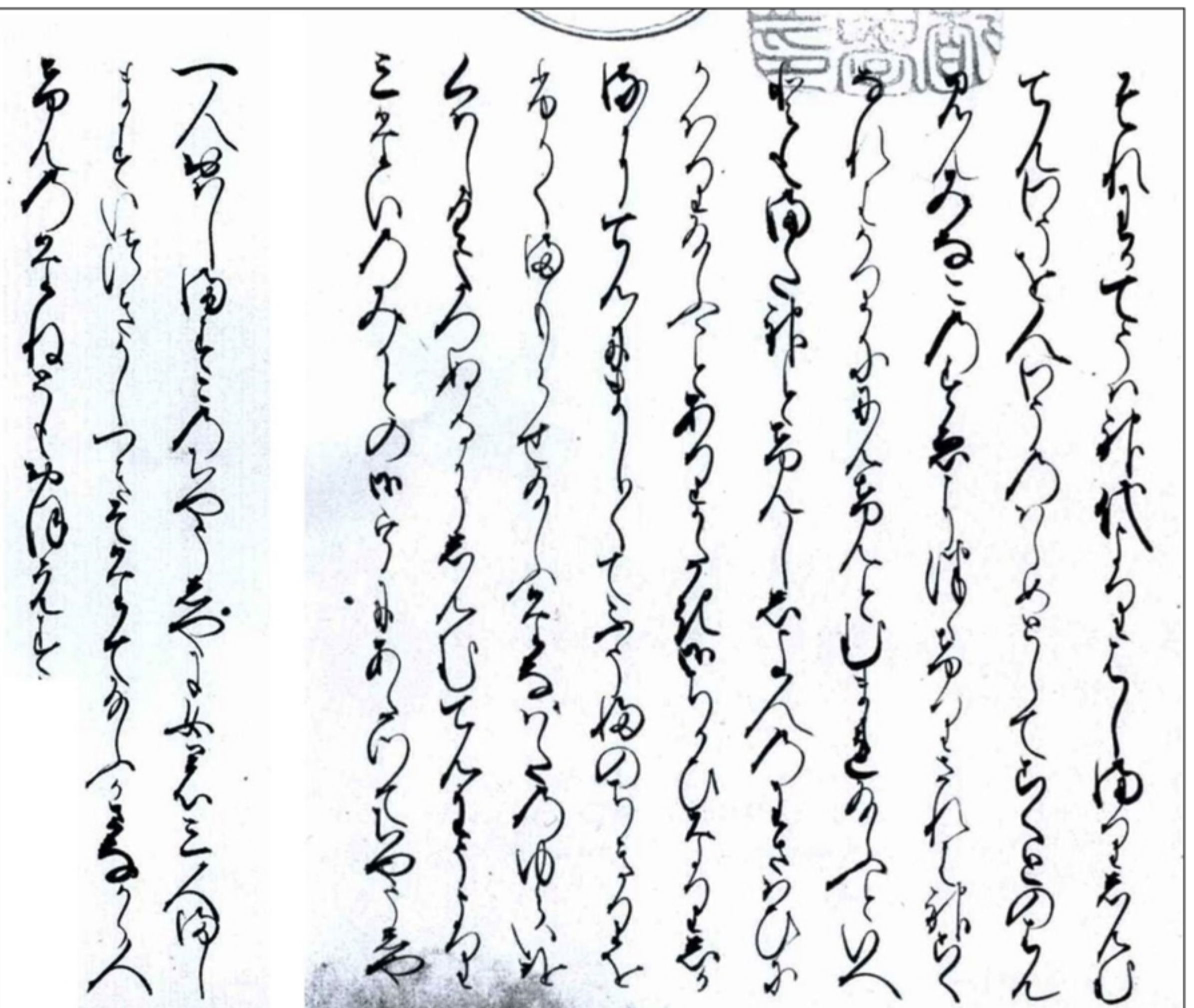
 - ・ 十七〜十八世紀における儒学史と国学史の展開について述べよ。

(国語学)

 - ・ 外来語の受容について詳述せよ。

※解答は縦書きにすること。

別紙 A



別紙 B

『大言海』より

あせる

キテ競フ。セル。セク。苛ツ。僅言集、あせる、人ニ氣ケジト競ヒテ、心ヲ遣ヒ氣ヲモムヲ云フ。

あせる (動) あす(浅)ノ口語。

あせむ (包) 阿勢真 あせ(吾兄)ノ條ヲ見ヨ。

あそ (名) 阿曾 [前條ノ語ノ約、吾兄ノ條ヲ見ヨ、朝臣ト云フ語、コレヨリ起ル] 人ヲ親シミ敬ヒテ呼ブ語。古事記、

下(仁德)ニ大御長歌、タマキハル、内ノ阿曾、汝コソハ、齡ノ長人(武内宿禰ヲ呼ビカケタマヘルナリ、内トハ、近侍ノ意)私記、帝王相親之詞也、言ニ我身願派之臣也。神功顯政前記、忍熊王長歌、タマキハル、内ノ阿曾(上三同ジ) 萬葉集、十六卷「池田ノ阿曾」種積ノ阿曾(平群ノ阿曾) 萬葉集古義、十六卷「古本松島日記ニ、在五ノあそノ如ク、ウラヤマシクナドト、聞言チヌル、云云、カノあきただノあそノ尼、尋ネマキルニ、云云」

あぞ (副) 何(何ぞノ轉)何、豈。なぜ、あぜ。など、あぞ) 何ぞニ同ジ。ナンゾ。数行記、十八年六月、肥後國阿蘇、吾二人、何無、入耶、故號其國曰阿蘇。

アソウキ (名) 阿僧祇 [梵語、阿僧祇耶(Ashukya)ノ略、無數ト譯ス、大智度論、四「僧祇、秦言、數、阿、秦言、無、云云、天人中、能知ニ算數ニ者、極、數不レ能レ知、是名ニ一阿僧祇」經論中ニ、三阿僧祇耶ヲ、三僧祇ト記セルハ、更ニ略セルナリ(阿彌陀、彌陀。阿修羅、修羅)梵語、無數ノ義。算數智ノ極ムルコト能ハザル、無量ノ大數。又、僧祇。法華經、授記品、無量阿僧祇劫「梵、滿、雙舉ノ語、無量ノ年歳ヲ云フ) 金剛經、新注、阿僧祇、即ニ無數時」

あそふ (代) 彼處 [倭訓栞、後編、彼其處ノ義也] あそふ、あすふハ、音轉ナリ、

あそ

(現身、うつそみ。雉子、きぎす) あそハ、彼處ナリ) (一)地位ノ代名詞ノ遺稱。アノトコロ。カシコ。又、あそふ。畿内ニ、あそ。平家物語、一、殿下乗合事、あそニ追ヒカケ、此處ニ追ヒツメ」相國寺塔供養記(應永)ハ、カバカシキ修理ヲダニモセラレネバ、あそハ、ココ、破レテ」枕草子、九、百十三段、吾方思フコトヲ、書キヤリツレバ、あそハ、マデモ、行キツカザルラメド、心ユクココチコソスレ」梁塵秘抄(後白河院御作)ニ、鶴、あそハニ立テルハ、何人ゾ」(二)「人代名詞ノ他稱。アノヒト。カレ。宇津保物語、顯間、下「此事、あそハト、少將ト、諸心ニ、云云、セラレヨ」

あそふ (副) 「あそそハ、淺淺ノ約轉ト云フ、(眞淵説、きさぐ、きそぐ。ささやく、そそやく。はらはら、はらら。うらうら、うらら) 倭訓栞、あそそ、萬葉集ニ見ユ、あさあさ也、今、うすうすと云フガ如シ」ウスウス。ホノカニ。 萬葉集、四「長歌、思ヒツツ、君ハアラムト、安蘇蘇仁ハ、且ハ知レドモ」古義、安蘇蘇ハ、蘇説ニ、物ヲ推シ心得タル詞ナリト云ヘリ」

あそばか。す。さ。し。せ (他動、四) 令遊 [まぎらす、まぎらかす。すべらす、すべらかす、同趣] 次次條ニ同ジ。遊、バシム。今昔物語、廿七、二十九講、乳母、云云、若君ヲあそばかし奉ルホドニ、云云」

あそば。す。さ。し。せ (他動、四) 所遊 [遊ぶノ未然形ヲ活用セシメテ、他動トシタル敬語、揺ぐ、ゆらがす) 遊事ヲシタマフ意ヨリ起リタル語ナルベシ」

(一)「爲タマフ。ナサル。(何事ニモ云フ)古事記、中(仲夏)七、天皇、云云、押三退御等(不)控、云云、建内宿禰大臣、白、恐、我天皇、備阿蘇(蘇)勢其大御等」萬葉集、十三卷「長歌、松ノ下道ユ、登ラシテ、國見所遊、云云」拾遺集、九、雜、下、御甚あそば